

9 用語集

あ 板橋十景

区が、区制施行 70 周年を記念して、平成 15 年 2 月に、板橋ならではの自然景観、都市景観、名所・旧跡、イベントを選定したもので、(1) 赤塚溜池公園周辺、(2) 板橋(旧中山道の仲宿付近の石神井川にかかる橋)、(3) いたばし花火大会、(4) 志村一里塚、(5) 石神井川の桜並木、(6) 松月院、(7) 田遊び(徳丸・赤塚)、(8) 高島平団地とけやき並木、(9) 東京大仏(乗蓮寺)、(10) 南蔵院のしだれ桜 の十景です。

遠景、中景、近景

それぞれ風景の概ねの距離を表す言葉です。遠景は、稜線や地形のアウトラインなどや、空を背景にした遠くに見える景観をいい、近景は、建物などの姿、形など視点場の近くに見られる景観をいいます。中景は、遠景と近景の中間に位置する景観のことをいいます。

屋外広告物

屋外広告物とは「常時又は一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるものであって、看板、立看板、はり紙及び張り札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物に掲出され、又は表示されたもの並びにこれらに類するもの」(屋外広告物法第 2 条第 1 項)をいいます。

か 開口部

建築物の屋根、壁、床、天井などに設けられた窓や出入り口などにより屋外や室外に開放された部分のことをいいます。

外構

建築物の外まわりの総称で、塀や生け垣、門扉、車庫、庭、アプローチなどをいいます。

カラーユニバーサルデザイン

色の見え方には個人差があり、目の疾患や遺伝子の特性の違いなどにより、色を見分けにくい人が多く存在します。こうした多様な色の見え方に配慮して、できるだけ多くの人々が利用しやすい製品や環境、サービス、情報を提供するという考え方を「カラーユニバーサルデザイン」といいます。

輝度

光源などの発光面が、ある方向から見た時にどれだけ明るく見えるかを表す数値のことです。テレビやスマートフォンなどのディスプレイでは、画面の明るさの度合いのことを指し、ブライトネスなどの名称で輝度を調整する機能があり、新しい屋外広告の媒体であるデジタルサイネージも同様です。単位は cd/m² (カンデラ毎平方メートル) を用います。

切り文字

厚みのある板を切り抜いて作成した文字やマークのことをいいます。

クルドサック

住宅地の中に居住者以外の車が入って来ないように計画的に設けられた袋小路状の道路形式で、車が転回するため植樹帯などによるロータリーが設置されています。

建植

地面に柱などを建てることをいいます。建植看板(けんしょくかんばん)は、地面に支柱を建てたり基礎を設置するなどして固定した看板のことで、野立て看板などとも呼ばれます。

さ 最高彩度色

各色相で再現可能な最も鮮やかな色のことをいいます。JIS 標準色票では、R(赤)系では 14 程度、PB(青紫)系では 10 程度が最高彩度色となっています。

CI カラー

CIとは、企業の特長や独自性を共通したイメージによって発信することで、わかりやすく社会と共有し企業の存在価値を高めていく企業戦略のひとつです。CIの1つの要素として、企業のシンボルカラーが「CIカラー」や「コーポレートカラー」といわれています。

視認性、可読性、判読性

目で見たときの認識のしやすさの度合いを視認性、文字の読みやすさの度合いを可読性、文字などの情報の意味を判断しながら読める度合いを判読性といいます。

修景

建築物や工作物等を周辺の自然や街並みに合わせて、形態・意匠・色彩などが調和するように修復したり調整することをいいます。

書体

それぞれの文字の形が、一貫した特徴や様式で統一された文字の集まりのことです。例えば、日本語の書体は「明朝体」と「ゴシック体」に、欧文の書体は「セリフ体」と「サンセリフ体」に大別することができます。

日本語書体の例	欧文書体の例
ゴシック体 板橋	サンセリフ体 Itabashi
明朝体 板橋	セリフ体 Itabashi

スカイライン

空を背景とした山や建物などが空を区切って作る輪郭のことです。

た 建物頂部

建築物の最も上側に位置する部分、頂点となる部分をいいます。

眺望景観

遠くを見渡したり、眺めを臨むことができる景観をいいます。

デジタルサイネージ

電光ニュース板、電光広告板、映像装置等、ネットワークに接続したディスプレイなどの電子的な表示機器を使って常時表示内容を変えられる広告物をいいます。ビジョン広告、可変表示式屋外広告物とも呼ばれています。

動光

光源が点滅したり、明るさの強弱が変動したり、色が変わるなど、動きのある光のことをいいます。

は 箱文字

金属板等を箱状に曲げてつくった厚みのある文字のことをいいます。厚みを利用して照明を内蔵させることもできます。

バナー広告・バナーフラッグ

商店街などで、イベントやキャンペーンに合わせて街灯などに取り付けるフラッグ（旗）のことをいいます。

光害

過剰または不適切な光により、夜空が明るくなり天体観測に障害を及ぼしたり、人に眩しさなどの不快感を与えたり、交通信号等の重要情報の認知力を低下させるなど、光による様々な悪影響のことです。口頭では公害と間違いやすいため「ひかりがい」といいます。

ピクトグラム

表現対象を視覚イメージとして抽象化し、文字以外のシンプルな図記号によって表したものです。一見してその表現内容を理解できることから、優れた情報提供手段となっています。国際的に通用する標準案内用図記号が定められています。

フットパス

住宅地に計画的に設けられた歩行者専用の路地、小路のことをいいます。

フロムナード

散歩道・遊歩道を意味する言葉です。常盤台の住宅地では、地域をほぼ一周する並木道が整備されています。

ま 窓面広告

建築物の窓等の開口部に設けられた窓ガラス等の内側に、直接・間接的に常時又は一定の期間継続して屋外の公衆に表示する広告物をいいます。具体的には、窓ガラスに直接ポスターやシートを貼り付ける場合や、ガラスを隔てた建築物の内壁に文字等を表示したものなどがあります。

や ユニバーサルデザイン

年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できるような生活環境その他の環境をつくりあげることです。

ら ロードベイ

住宅を道路から後退させてオープンスペースを確保するために設置された道路沿いの空き緑地のことです。

“もてなし”が感じられる心地よい板橋の屋外広告物景観をめざして

板橋崖線軸地区



石神井川軸地区



加賀一・二丁目地区



常盤台一丁目・二丁目地区



板橋区屋外広告物景観ガイドライン | Outdoor Advertising Guidelines for Itabashi City

発行年月 平成28年3月

発行 板橋区 都市整備部 都市計画課
〒173-0004 東京都板橋区板橋二丁目66番1号
tel.03-3964-1111 (代表)
ホームページ <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/>

刊行物番号

27-165



本ガイドラインに関するお問い合わせは、都市計画課 都市景観担当 までご連絡ください。
tel.03-3579-2549 (直通) fax.03-3579-5436 email: t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp